

# 1014. Vector lattice の表現ニツイテ

中山 正(阪大)

Vector lattice 或ハ更ニ一般ニ可換束群ノ表現ニツイテハ純代数的ニハ非常ニ満足スベキ結果ガ Lovenzgen (ソシテソノヨリ判リ易イ解説トシテ Clifford) = ヨツテ得ラレテキル (ソノコトハ 227 号談話 983 及ビ 984 = モ一寸述ベタ<sup>1)</sup>). (勿論純代数的ニモ多クノ問題ガ残サレテキルガ). ソシテソノ結果ヲ使フト Vector lattice ノ諸結果, 特ニソノ表現ニツイテノ諸定理ニ於テソノ証明ガ簡易化サレルモノガ少クナイ様ニ思ハレル。

サテ, 前々号ニ前田-小笠原氏ノ興味アル諸談話ガ出タ (談話 998-1000), ソノ第一ノ表現論(998) ソレハあるまじき時ニハ中野氏ノ relatives spectrum (数物記事 23-7(昨年)) ト大体同ジモノナルノデハナイカト思ハレマスガ, 兎ニ角ソレ等ヲ上述ノ立場カラ見テ見タイト思フ。(本質的ニ大シタ違ヒハナイガ) 即チ, 一般ノ Vector-lattice ガ Krull-Lovenzgen-Clifford = ヨツテ線形順序ヲモツモノヲ同型ニ當ニ表現サレテキルノ

---

1) 談話 984 = オケル distributivity = ツイテハ中野氏カラ適切ナ御注意 (談話 995) ヲイタジキ難有ク存ジマス. 自分デモ氣ツイテ談話 989 デ述ベラオキマシタ. 紙上オ礼申レマス. ナホ, Dedekind ノ証明ハ Wierke, Bd. 2, XXVIII §6 = アリマス.

1) カラ、ソレ=直接 Wallman 式ヲ適用スレバ、同型ヲ  
 犠牲ニシタイテ、鬼三角帯=アル意味ヲ連続+アル意味ノ函  
 数(?)ヲ表現サレルワケデアル。ソノ後=特=函数ノトル値  
 ヲ実数(又ハ $\pm\infty$ )トシテ、ソノ代リ同型ヲ犠牲ニシテ準同  
 型=スレバ前田-小笠原氏ノ結果=相省スル表現が得ラレル  
 ト思フ、ソシテ  $\sigma$ -complete ノ時ハ中野氏ノ *relative*  
*spectrum* =ナルト思フ。而シテソレヲノ結果ヲ直接出サ  
 ウト思フ時デモ *Louvenzen-Clifford* ノ表現ヲ経ルコ  
 トハ無駄+ *detour* デハナイト思フ。鬼三角、べくとる束ノ  
 所謂表現論=オイテ、スベテノ表現ノ母型又ハ原型トシテ  
*Louvenzen-Clifford* ノ定理ヲ見ルベキ+ノデハナカラ  
 ウカト思フノデスが如何デセウカ?!

+ホ、序デ=談話 999 = 於テ小笠原氏ノ述ベテ居ラレ  
 ル定理「あるきめです的+ラ完備化出来ル」ハ其ノ後ニ述  
 ベラレテアル如ク中野氏ノ上記数物記事及ビ談話 915 = ア  
 リスガ、*Louvenzen, Clifford* = ヨツテモ証明サ  
 レテキル(例ヘバ *Clifford*, 定理 3) (*Artin-Krull*  
 ノ定理ノ *analogy*) コトヲ述ベテアセアイタボク。

§1. 線型順序ヲモツベくとる束ニツイテ自明カガ一言  
 スル、線型順序ヲモツベくとる束  $L$  ノ元  $a, b$  = 於テ任意ノ  
 自然数  $n$  = 対シテ  $|a| < n|b|$  + レトキ  $a \ll b$  デ表ハ  
 シ  $b$  ノ位 (無限大ノ位) ハ  $a$  ヨリ高イトデモ云フコト=スル。  
 $a \ll b$  デモ  $a \gg b$  デモナイトキ  $a$  ト  $b$  ハ同ジ位ヲモツト  
 イフ。コノ時=ハ  $a=b=0$  デナイトスレバ  $b - \varepsilon a \ll a$

(及ビ  $b$ ) + の冪数  $\xi (\neq 0)$  が存在シマター意的 = キマル、今  $a > 0$  を固定シ、 $a$  より高い位、 $b = \text{ツイテハ}$   $b \geq 0 =$  應ジテ  $\beta = \pm \infty$ 、 $a$  と同じ位、 $b = \text{ツイテハ}$   $\beta =$  上記の  $\xi$ 、 $a$  より低い位、 $b = \text{ハ}$   $\beta = 0$  トスレバ、 $b \rightarrow \beta = \text{コツテ}$   $L$  から冪数及ビ  $\pm \infty$  への對應がツケラレル。算法、順序が保存サレル (但シ  $\infty - \infty$  等 = ツイテハ 何モワカラヌトシテ) 濃密ノ意味デハイケナイガ、カノル對應ヲモ準同型トヨビ冪数 (又  $\pm \infty$ ) = ヨリ表現ト呼バウ (前田 - 小笠原氏ノ場合ト同様)。

トホ、カノル *analysis* をクハシク遂行シテ *idahn* ハ線型順序ヲモツ *vector lattice* 或ヒハ一般 = 可換束群ノ形ヲ完全 = キメテキルワケダガ、ソノ精細ハ必要トシナイ。

§2. 先ツ *Louvenzen-Clifford* ノ定理:  $L$  フーツノ *vector lattice* トスル (可換束群モ同様 = 扱ヘルガ、簡單ノタメ = )。

$x > 0$  ノ元、即チ正元ノアル集合  $\mathcal{P}$  デ束  $L$  ノ双對 (= 加法的) いでや  $\mathcal{P}$  +  $\mathcal{P} \in \mathcal{P}$  ヲ  $\mathcal{L}$ -いでや  $\mathcal{P}$  トヨブ (*Louvenzen*、言葉ソノマ、デハ *properly = generated* +  $\mathcal{L}$ -い  $\mathcal{P}$  トイフベキダガ簡單ノタメソレヲ略ス)。  $\mathcal{L}$ -い  $\mathcal{P}$  即チ  $\mathcal{P} = \text{オイテ}$   $a \notin \mathcal{P}, b \notin \mathcal{P} \rightarrow a + b \notin \mathcal{P}$  ノルトキ  $\mathcal{P}$  ハ素 + リトイフ。最大  $\mathcal{L}$ -い  $\mathcal{P}$  ハ素デアル。

$\mathcal{P}$  が素 + ル  $\mathcal{L}$ -い  $\mathcal{P}$  + ルトキ、 $|x| \in \mathcal{P}$  ノ元、即チ

$$x = a - c \quad (a \in c \in \mathcal{P} \text{ 且ツ } \mathcal{P})$$

$\neq 0$  元  $x$  の全体  $M_f$  となる。  $M_f$  は Birkhoff, 言葉が  
 いへば *normal + subspace* をナシ, 而して  $L/M_f$  +  
 剰餘 *vector lattice* の線形順序ヲモツ。  $L$  の元  $a$   
 の  $L/M_f = \neq 0$  像、即ち  $a \bmod M_f$  の類ヲ  $a(f)$  デ  
 表ハス。

今  $f$  が最大  $\epsilon$ -いじやる / 全体ヲウゴクトスレバ

$$a \rightarrow ( \dots, a(f), \dots )$$

ニヨッテ  $L$  が線形順序ベクトル束  $L/M_f$  の直積、中  $\text{-}trm$ ,  
即ち同型 = 表現サレル。

§3. カク *Lovenzon-Clifford* の定理ハ  $L$  の  
 最大  $\epsilon$ -いじやる全体  $\mathcal{S} =$  於ケル或ル意味ノ函数 (各点ヲ  
 値ノ属スル *Bereich* がコトナリ、コトソレハ單 = 線形ベ  
 クトル束デアツテ数デアイ) = ヨリ  $L$  の同型ノ表現ヲ主張ス  
 ル。ソコデ  $\mathcal{S} =$  適當 = 位相ヲ入レル。 *Wallman* の真似  
 ヲスル。

$L = \neq 0$  元  $\geq 0$  元ノナス部分束 = 於ケル *Wallman*  
 の *maximal collection* が上記最大  $\epsilon$ -いじやる = 他  
 ナラナイノデカラ、 $a \geq 0$  元  $a =$  ツイテ  $a \in \mathcal{F}$  元ノ最大  
 $\epsilon$ -いじやる  $\mathcal{F}$  の集合、所謂  $a$ -set ヲ開集合ノ基トスレバ  
 ソレハ同時 = 開トナリ  $\mathcal{S}$  が完全不連結ノ位相空間 = ナル。

コノトキ上記  $a(f)$  ハ次ノ如キ意味ヲ連続ノ函数(?) デ  
 アル、ソノ第一ノ意味: 一元  $a$ , 一点  $f =$  対シ、條 = 一元  
 $b =$  ツイテ  $a(f) = b(f) +$  リトスレバ  $\mathcal{F}$  の適當ノ近傍  
 $U$  ヲトレバ  $q \in U \rightarrow a(q) = b(q)$  デアル。

[証明]  $a \leq b$  の時 =  $\forall \epsilon > 0, (a-b)(\mathcal{P}) = 0$  がカラ  
 $a-b \notin \mathcal{P}$ . 然ル =  $\mathcal{P}$  の最大元 =  $a$  であるがカラ  
 $(a-b) \wedge p = 0$  ナル  $p \in \mathcal{P}$  がアル. コノ  $p$ -set  $U$  を考へ  
 $U \in \mathcal{Q}$  即チ  $p \in \mathcal{Q}$  十  $(a-b) \wedge p = 0$   
 がカラ  $a-b \notin \mathcal{Q}$ . 故 =  $(a-b)(\mathcal{Q}) = 0$  である. 連続  
ノ第二ノ意味: 任意ノ  $\epsilon > 0$  ( $> 0$  ナルコトハ特 = 本質的  
 デハナイ) をトリ、 $a(\mathcal{P}) \gg \epsilon(\mathcal{P})$  ノ時 =  $\wedge \alpha(\mathcal{P})$  を  
 $a \geq 0$  = 應ジテ  $\pm \infty$  トシ、然ウデナイトキ =  $\wedge$   
 $a(\mathcal{P}) - \alpha(\mathcal{P}) \epsilon(\mathcal{P}) \ll \epsilon(\mathcal{P})$  ナル実数  $\alpha(\mathcal{P})$  を考へル  
 (§1. 参照). シカラバコノ  $\alpha(\mathcal{P})$  ハ連続函数である.

[証明]  $\alpha(\mathcal{P}) = \alpha_0$  が有限ノ時 =  $\wedge$

$$\{(\alpha_0 + \epsilon)u - a\} \cup 0 \text{ - set } \tau$$

$$\{a - (\alpha_0 - \epsilon)u\} \cup 0 \text{ - set}$$

ノ共通集合を考へればヨイ. ソコデ  $\mathcal{Q} =$  対スル  $\alpha(\mathcal{Q})$  ハ  
 $\alpha_0 + \epsilon$  ト  $\alpha_0 - \epsilon$  ノ間 = アル.  $\alpha(\mathcal{P}) = +\infty$  ノトキ =  $\wedge$   
 任意ノ実数  $\lambda =$  對シテ  $\{(\lambda u - a) \cup 0\}$  - set ノ補集合ナル  
 閉集合を考へればヨイ  $\alpha(\mathcal{P}) = -\infty$  ノトキモ同様.

函数ト云フノハ無理ナ変ノ函数であり、ムシロ唯表現ト  
 イフベキだが、或ル意味デ連続であり、トモカク同型である  
 ノが長所である。

§3. 上記第二ノ連続性 = 於ケル  $u$  を或ルーツノ固定  
 シタ元トスレバ、 $a \rightarrow \alpha(\mathcal{P}) =$  ヨツテ  $\mathcal{Q}$  = 於ケル実数  
 (又ハ  $\pm \infty$ ) 値連続函数  $\alpha(\mathcal{P}) =$  ヨツテ  $L$  が準同型 (例ノ  
 如ク modify シタ意味) = 表現サレタコト = ナル. 同型

性ヲ犧牲ニシテ實數(スハ士 $\infty$ )値ニシタワケデア  
ル。

特 =  $L =$  (Freudenthal 式) 單位  $e$  ガアルトシ  
テ  $U = e$  トスレバ前田-小笠原氏ノ §1 / 結果(定理 1, 2)  
= ナルワケデアラウ。(實際上記  $\Omega$  ノ点ト前田-小笠原氏  
ノ  $\Omega$  ノ点ト對應ヅケラレルコトハ容易ニワカル)。(ナホ  
言葉ニ捉ハル様テ恐縮デスガ、定理 1.3 = オイテ  $L/N =$   
*isomorphic* ト言ハレテアルノハ言葉ガ一寸不適當ヲ  
誤解ヲ招グ恐レガアルノデハナイデセウカ? ソコ =  $\epsilon$  述ベ  
ラレテアル如ク單 = Kern ガ 0 トイフ意味ガ一對一トハ  
限ラナイワケデスカラ、妄言オ覺シ下サイ)。あるきめです  
的ナラ 0 函数 = 對應スルハ 0 元ノミノコト明カ。ナホ  
あるきめです的ノ場合ノ精細ハ次 § = 述ベヨウ。

$\sigma$ -complete ナラ中野氏ノ *relative spectrum*  
*spectrum* = ナルワケデアラウ。ナホ、ソノ場合  $\Omega$  ガ局所  
びこむばくキナルコト(中野氏ノ Satz. 1.5) (實ハ局所  
トイフヨリハ幾分強イびこむばくキ性デアアル)  $\epsilon$  中野氏ニ  
於ケル如ク *projection* ノ可補性カラ Wallman ノ  $\epsilon$   
ウーツノ位相ト一致カラワカルワケデアアルガ、ソレハ多分  
ソレ = 本質的 = 依存スルコトデ、一般ノべくキ  $\Omega$  ハ  
局所びこむばくキ = ナルト限ラナイデハナイカト思ハレル  
ガ、トモカク吟味シテ見ナケレバ分ラナイ。

§4. 次 = 前田-小笠原氏ノ §2 = 相當シテあるきめデ

す的ノ場合ヲ考ヘヨウ。  $L$  があるきめです的トハ上記 § 2  
 = 於ケル (或ヒハ一般 = 任意ノ線型順序ベクトル束 = ヨル)  
 同型表現デ、  $L$  ノ如何ナル二元  $a, b$  ( $\neq 0$ ) ヲトツテモ、  
 スベテノ  $\mathcal{F}$  = 對シテ  $a(\mathcal{F}) = b(\mathcal{F}) = 0$  カ  $a(\mathcal{F}) \gg b(\mathcal{F})$   
 トナツテホルトイフ様ナコトガナイコトデアアル。

以下  $L$  があるきめです的ナリトスル。前田、小笠原氏  
 ノ定理 2.2 ノ証明ノ精細ハ略サレテアルガ、大体 *frem-*  
*denthal* 單位ノアル場合ノ直積 = ナホス (大ザッパナ言  
 ヒ方ダガ) トイフ方法ハオ借りシテ (Bachner-Phillips,  
*Ann. Math.* 42 ヲモ参照)、マハリ Krull-Lorenzen  
 -Clifford ノ定理カラ幾分簡易化サレルノデハナイカト  
 思フ。

互ニ *fremd* (*meet* ガ 0) ナル正元ノ集合トシテ  
 最大ノ  $\epsilon$  ノが確カニ存在スル、ソノ一ツヲ  $\{e_\alpha\}$  トスル。  
 最大  $\epsilon$  - いでやる、即チ  $\Omega$  ノ点  $\mathcal{F}$  ノ中ニハスベテノ  $e_\alpha =$   
 對シテ  $e_\alpha(\mathcal{F}) = 0$  トナル  $\epsilon$  ノ  $\epsilon$  アルカモ知レナイ。今ソレ  
 ヲ除イテシマツテ残リヲ  $\Omega$  トスル。然ラバ § 2 = 於ケル  
 表現 = 於テ單ニ  $\mathcal{F}$  が  $\Omega$  ヲウゴクトシテモ表現が同型デアアル  
 コトハ保タレル。何トナレバ  $a \geq 0$  テスベテノ  $\mathcal{F} \in \Omega$  = 對  
 シテ  $a(\mathcal{F}) = 0$  ナラバ明カニスベテノ  $e_\alpha =$  對シテ  
 $e_\alpha \wedge a = 0$ 。  $\{e_\alpha\}$  ノ最大性カラ  $a = 0$ 。

ソコテ § 2 = 於ケル第ニノ連続性 = 於ケル  $\mathcal{U}$  トシテ点  $\mathcal{F}$   
 = 於テ  $e_\alpha(\mathcal{F}) > 0$  ナル  $\epsilon_\sigma$  (ソレハタゴーツシカナイ) フト  
 ル、即チ各点  $\mathcal{F} =$  於テ  $e_\alpha(\mathcal{F}) > 0$  ナル  $e_\alpha$  ヲトリ、  $L/M_{\mathcal{F}}$

= オケル  $e_\beta$  / 位 = 注目シテ  $a(\beta) \gg e_\alpha(\beta)$  ナラ  $a \geq 0$

= 應ジテ  $a(\beta) = \pm\infty$ , 然ラデナケレバ

$$a(\beta) - a(\beta) e_\alpha(\beta) \ll e_\alpha(\beta)$$

トスル、コレニヨツテ

$$a \rightarrow a(\beta) \quad (\beta \in \Omega_1)$$

ナル  $\Omega_1$  デノ実数 (又ハ  $\pm\infty$ ) 値函数  $a(\beta) = \text{ヨツテ } L$  が  
準同型 = 表現サレタ、コト =  $a(\beta)$  ハ連続デアル 何者: 各  
 $e_\alpha$ -set ハ互 = fremd ナ開且ツ開集合デソノ和ガ  $\Omega_1$   
ガカラ各  $e_\alpha$ -set ノ中ガ連続ナコトヲイヘバヨイ。然ルニ  
ソレハ  $\Omega_3$  = 述ベタ場合デアル。 (ユツマデ ハあるきめです  
的ノ假定ハ使ツテキナイ)、次ニ常ニ  $a(\beta) = 0$  ナル元  $a$   
ハ  $0$  = カギル。証明ハ  $a \geq 0$  ノトキスレバヨイ。ソノ様ナ  $a$   
ニツキ任意ノ  $e_\alpha$  = 對シテ  $b = a \wedge e_\alpha$  トオケバ明カ = 任  
意ノ  $\beta \in \Omega_1$  = 對シテ  $b(\beta) = e_\alpha(\beta) = 0$  カ  $b(\beta) \ll e_\alpha(\beta)$   
デアル。故ニ (あるきめです假定 = ヨリ)  $b = 0$ 。スベテノ  
 $e_\alpha$  = ツイテガカラ  $a = 0$  デアル。

更ニ、任意ノ  $a$  = ツキ  $a(\beta) = \pm\infty$  ナル点ハ nowhere  
dense デアル。証明ハ  $a > 0$  トシテヨイ。如何ナル  $b > 0$   
= 對シテ  $b$ -set 中ニハ  $a(\beta) = \text{有限ナル } \beta (\in \Omega_1)$  が  
アルコトヲイヘバヨイ。即チ  $b(\beta) > 0$  デ且ツ  $e_\alpha(\beta) > 0$   
ナル  $e_\alpha$  = 對シテ  $a(\beta) \gg e_\alpha(\beta)$  デナイヤウナ  $\beta$  ノアル  
事デアル。假ニコノ様ナ  $\beta$  ガナケレバ任意ノ  $e_\alpha$  = 對シテ  
 $b \wedge e_\alpha$  ノ考ヘルニ如何ナル  $\beta$  = 對シテ  $(b \wedge e_\alpha)(\beta) = 0$   
カ  $(b \wedge e_\alpha)(\beta) \ll a(\beta)$  デアル。然ラバ (あるきめです



假定 = ヨリ)  $b \wedge e_\sigma = 0$ . 任意,  $e_\sigma = 1$  対シテダカラ  $b = 0$   
トナツテ矛盾。

上記ニツノコト = ヨツテ我々, 表現ハ同型デアアル。

カクテ完全不連結ナ  $\Omega_1$  デノ連続実数 (又ハ  $\pm \infty$ ) 値函  
数ヲ同型 = 表現サレタ。

更 = 前田 - 小笠原氏ノ場合 = 於ケル如クびこむばくヒヲ  
ノヤム時 = ハ、例ヘバ Wallman 式 = ヨリ  $\Omega_1$  ヲびこむば  
くヒナ  $\Omega_2 = \text{imbed}$  スレバヨイデアラウ。  $\Omega_2$  モヤハリ  
完全不連結デアアル。  $\Omega_2$  ノ点  $\mathcal{P}$  ハ  $\Omega_1$  ノ閉集合ノ lattice  
ノ最大双対いでや自デアアル。  $L$  ノ元  $a \geq 0$  = 対シテ  $a$ -set  
 $\in \mathcal{P}$  ナラバ  $a(\mathcal{P}) > 0$ ,  $a$ -set  $\notin \mathcal{P}$  ナラ  $a(\mathcal{P}) = 0$   
トオクコト = ヨツテ,  $L$  ノ元  $a = \Omega_2$  デノ連続 (實数又ハ  
 $\pm \infty$  値) 函数が得ラレ。ソレガ  $\Omega_1$  ( $\subseteq \Omega_2$ ) ノ上デハ原ノ  
ト一致シ同ジ様ナ性質ヲモツコトハ容易 = 知ラレルデアラウ  
ト思フ。

以上本質的 = ハ何等変リナク、又ジ同ジコトヲ繰リカヘ  
シタジケデアリ、ソシテ長々ト書イテ恐縮デシタガ、又ジ  
Krull - Loxenzgen - Clifford = ヨツテ同型ナ表現  
が與ヘラレテオクノデスカラ、vector lattice ノ諸表  
現論 = オイテソレヲ原型トシテソレ = 依存スルナラ種々ノ点  
デ簡易化サレルコトガアルノデハナカラウカト思フコトヲ述  
ベタカッタダケデアリマス。(又ジシコト = 表現論トイッタ  
ノハ無限個ノ元ノ  $\sup, \inf$  = 関係セズ formulate  
出来ルモノノミトシマス、無限個ノ  $\sup, \inf$  等ノ出来

ルモ、(例へば *spektral zerlegung* 等) デハ 同定  
理ガ必ズ シモ 有効 = 利用出来ルトハ 限ラ ナイカト 思ヒマス、  
利用出来ル コトモ アリマセウガ)) 何か 考ヘ 違ヒ シテ キル 点  
モ アルカト 思ヒマス、御 教示ヲ 願ヒマス。